

平成 27 年度事業報告

I. 主要会議：

1. 平成 27 年 5 月 28 日（木） 理事会、評議員会同時会議
 - ・平成 26 年度事業報告・決算案の承認
 - ・平成 27 年度事業計画と予算の修正案の承認（4 月入学新入生の会費納入が見込みを下回ったため）
 - ・「校友会費等検討プロジェクト」発足の承認
2. 平成 27 年 10 月 6 日 理事会、評議員会同時開催
 - ・平成 27 年度上半期事業実績及び収支実績の承認
 - ・平成 27 年度各専門委員会報告
「校友会費等検討プロジェクト」（5 回）の報告・承認（内容別紙）
 - ・指定寄附金制度の導入承認
 - ・マイナンバー制度への対応規則承認
 - ・英語名称は保留
3. 平成 27 年 10 月 31 日（土） 横浜国立大学校友会総会
上半期活動報告、上半期収支報告、下半期活動計画の報告、質疑
4. 平成 28 年度 3 月 9 日（水）理事会、評議員会同時開催
 - ・平成 28 年度事業計画と予算案の承認
 - ・顧問、団体会員の承認
 - ・英文名称は保留
5. 専門委員会の開催
 - ・総務財務委員会 5 回（うち企画委員会と合同 3 回）
 - ・企画委員会 4 回（うち総務財務委員会と合同 3 回）
 - ・HCD 実行委員会 3 回
 - ・広報委員会 3 回
 - ・交流運営委員会 3 回
 - ・若手校友会 5 回
 - ・校友会費等検討プロジェクト 5 回
 - ・学生幹事会準備委員会 8 回

○新入生からの校友会費納入状況と課題

- ・4 月 30 日現在 728 名（前年同日比 101.96%）

II. 主要事業実績：

1. 新入生向け事業

○新入生説明とイベント

- ・清陵祭に「校友会テント」設け、校友会活動の説明とイベント。
- ・校友会紹介パンフレット・学年暦つきカレンダーの贈呈(入学手続案内に同封)。

○社会人・在学生先輩によるキャリアガイダンス等

- ・1年生前期社会人基礎力養成講座「まなび座プロジェクト」---主体的に考え取り組む姿勢を育成。15コマ98%の受講率
- ・設立記念シリーズ講演会 著名な各界第一人者による講演会計8回(保護者参加可能)。
- ・会報誌配布(8月発行、30,000部)新入生の保護者、教職員、卒業生、在学生等

2. キャリア教育の支援

本年度は上記の年生前期社会人基礎力養成講座「まなび座プロジェクト」を開講。

3. 真のグローバル人材育成の支援

○アウェーで勝つ人材育成

- ・留学・国際交流説明会「Go Global YNU」7/3開催
留学制度説明、海外提携校との短期留学生の相互派遣等の説明会と交流会実施
文科省、内閣府から担当官の来学、大学の教職員から大学の支援制度の説明。
留学経験の在学生及び社会人からの体験談も学生にとって大変参考になり、
学生の参加は50数名程度だったが、大好評であった。

4. 学生の諸活動に対する支援

○グループワークコンテスト

- ・第2回アプリコンテストを校友会主催で開催。
応募数44件、最終選考10組が11/28の決勝戦に進み(1組欠席)、各組による熱いプレゼンテーションが行われた。企画部門優勝および開発部門優勝者をはじめスポンサー様からの数々のスポンサー賞も出て、そのあとの懇談会も盛会裏に終了。

5. 校友会会員どうしの交流促進

○ホームカミングデーの開催など横浜国立大学と会員及び会員相互の交流

- ・ホームカミングデー(HCD)
従来主に卒業生の交流の場から進化させ、在学生や若手校友会会員との交流を活発化する意図で今年から常盤祭初日(10月31日(土))に同時開催した。
HCD参加の卒業生からは、久しぶりに母校の学生の活発な様子を見ることで好評であったが、同時開催の周知不足で、メイン講演会などに学生の参加が少なかったことは反省材料である。

○会報、ホームページによる情報提供

「横浜国立大学校友会会報誌」を8月に発行し、校友会の活動や横浜国立大学の動向などについて会員の皆様にお届けした。ホームページでは、会員の皆様に随時情報発信を行い、校友会の認知、関心を高める努力をした。

6. 会員情報の管理

○会員情報の収集・管理

会員管理は入学生が主。その他の会員登録については今後の課題。
会費納入者と2万円以上の寄附会員には会員証を発行し校友会への帰属意識を高めた。